



## 四旬節:キリストと共に

### 古い我に死に 新しい命と生き方に復活する

ジャン・ペンケレシ神父

三月一日（灰の水曜日）をもって四旬節に入りイエスの受難と復活により深く与るように備えます。その意味を最もよく悟らせるのは、キリスト到来を準備するために選ばれた民イスラエルの40年間の荒れ野生活を見ることです。

イスラエルはエジプトで過酷な強制労働を課せられましたが、肉、玉ねぎ・野菜、果物を思うままに腹いっぱい食べました。荒れ野にそういうものは全然なく、菓子パンの味をしたマナだけで、水も度々不足します。その時、奇跡的に奴隷状態から解放なされた神を頼りにして必要なものを願えば与えられたのに、モーゼと神に不平を言います。そのとき神が彼らを不幸に陥れて、彼らは過ちを認め、神に赦しを願います。神はいつも赦し、癒し、必要なものを与えられます。こうして欲望のままに生きる心が徐々に清められました。

そのように生きるために、神はシナイ山で彼らに十戒を授けられ歩むべき道を示されました。これを守ればイスラエルをご自分の民とし、平和を与え幸せにする、と神は約束されました。彼らは唯一の神だけを頼りにし、その言葉を守る約束をして、神とイスラエルの間に契約が結ばれました。40年間の厳しい荒れ野生活に鍛えられて、約束の地に入るに相応しいものに変えられました。

イエスも洗礼の後、聖霊に導かれて荒れ野に退き、世間の騒音から離れて、40日間断食し、御言葉を思い巡らし、祈り、悪魔の誘惑を退けました。

四旬節も先ず、生活の騒音を離れて神と共に過ごす時間を毎日つくり、神の言葉を聞き、ゆっくりと神の言葉を読む期間です。神の言葉は神の考えと望みを伝えます。それに合わないものを示します。その悪かったもの(神の望みに合わないもの)を悔いて、改めるように促されます。

四旬節の間、食事の量と美味しいものを減らし、自分の楽しみ(娯楽)なども制限し、節制することによって自分の中にある悪に勝つ力を身につけます。

しかし自分の努力では足りません。聖霊はその力をお与えになります。聖霊を頂くために毎日祈る必要があります。四旬節は祈る期間、祈りに戻る期間です。

こうして古い我にますます死に、イエスと共に神に忠実に生きる者に変えられ、その復活の勝利に与ります。約束の永遠の故郷に向かって！ 喜びの内に！

## 2017年2月度評議会議事録

1. 日時:2017年2月19日(日)11:00~12:43、場所:住吉教会第2会議室、出席14名

2. 始めの祈り

3. 星の園幼稚園連絡・協議事項

3月16日卒園式案内状配布 U議長、T・K副議長、K典礼チーム代表の4名

4 議事

### ア 審議事項

(1) チーム代表改選(2月19日現在)

財務チーム (現)A.T 氏、(新)O.K 氏

養成チーム (現)K.K 氏、(新)Y.N 氏 以上評議会決定。

宣教チーム、社会活動チームへの人的支援について、重ねて検討、参加して行く。

(2) 日本カトリック司教団メッセージ「性虐待被害者のための祈りと償いの日」の設定にあたって  
2017年3月17日(金)(資料参照) お知らせ掲載とパウロ三木ホールに掲示し、周知する。

(3)「大阪教区再宣教150周年」(2018年)に向けて、「祈りの人、慈悲の人、寄り添いの人、宣教の人」  
なるユスト高山右近に倣って、「祈りかつ働くいつくしみの福音宣教」を「大阪教区再宣教150周年企画  
委員会」の発足、教区宣教司牧評議会、神戸地区宣教司牧評議会、住吉  
小教区評議会、教区各種委員会のつながりの中で具体案と活動計画

住吉小教区での右近勉強会を通じての取り組み、チームでの取り組み、小教区全体への広報と活動の  
拡がり(2月19日現在)

- ① すみよし誌イースター号で高山右近特集。2月7日列福式出席者寄稿文、右近記事、書籍紹介と感想文の掲載等。
- ② ユーチューブ配信の溝部司教様の右近講演記録を観ること。
- ③ 復活祭または4月29日~30日に住吉教会で開催されるサムエルナイトにうーこんどの来訪依頼すること。

(3) スリランカ人男性とベトナム人女性結婚式 住吉教会で開催、評議会承認。

## イ 検討事項

- ① アジアユースデイ: 2月末申込×切。住吉教会でもメール、LINE 等で対象者に参加呼びかけ。
- ② 典礼チーム: 3月 5日(日)ゆるしの秘跡 ペンケレシ神父スケジュールをお聞きすること。  
4月15日(土)聖土曜日ミサ: 日本語、スペイン語共通で唱える。
- ③ 養成チーム; 2月19日ミサでコンスルタ神父から「聖体授与を伴う病者訪問奉仕者」修了証(大司教)交付されました。その結果、N氏聖体奉仕者任命書は近日中に、担当司祭より交付され、4月から任に就く予定です。
- ④ 評議会議長団選挙 2月26日公示。男性のみでなく、女性候補者の立候補、推薦期待。
- ⑤ パウロ三木祝日のぜんざい調理時、キッチンとトイレ照明、香部屋のブレーカーが飛んだことについて、配電を分割し、電源コンセント工事を必要な箇所に増設すること 評議会決定。

## ウ 報告事項

- ① 2017年度予算(追加)報告(財務チーム代表) 承認されました。
- ② カリタス南相馬支援ボランティア: 5月4日～5月10日現地。  
(三田教会、六甲教会、住吉教会ほか参加)

## 5、終わりの祈り

☆次回評議会 3月19日(日)11:00から

議題: 議長団改選(投開票、評議会決定後、司祭承認を頂きます)、聖週間、小教区総会等準備  
東ブロック合同堅信式準備会(3月5日15:00、六甲教会、準備委員出席)、堅信準備勉強会

## 2017年四旬節愛の献金のお願い

復活の祭日に向けて、3月1日の灰の水曜日から四旬節が始まりました。この期間私たちの教区全体が、教会の伝統に従って、人間的な思いを捨て、キリストに生きることができるよう回心を願って過ごしましょう。

神の私たちへのいつくしみを思い起こす特別聖年を終え、今度は私たちが人びとにいつくしみを示すように招かれています。私たちの方から出向き、災害や、さまざまな苦しみ・痛み・悲しみのうちにある人びとと連携していく決意を新たにしましょう。

さて、この時期に四旬節の精神をより良く生かす具体的なしるしとして、日本の教会は毎年「四旬節愛の献金」を呼びかけています。昨年度の「四旬節愛の献金」は教区全体で5,990,487円となり、カリタスジャパンへ送金させていただきました。いつも寛大な心で多くのご協力を寄せていただいていますことを厚くお礼申し上げます。

最後に、皆様とともにこの回心のときをふさわしく過ごし、大きな喜びのうちに主の復活を迎えることができますようお祈りいたします。(教区事務局からの文書抜粋)